

平成27年度 大橋川改修事業に係る環境モニタリング協議会 議事録

日時 : 平成27年7月10日(金) 14:00~16:00

場所 : くにびきメッセ 501 大会議室

■開会挨拶

開催にあたり、国土交通省出雲河川事務所長より挨拶。

■委員紹介

協議会委員の紹介。(委員紹介は、出席者名簿および席次表により各委員の紹介とした)。

■会長挨拶

- 昨今、温暖化現象の影響によるものなのか、気象条件も変わってきている。
- 大橋川の改修にあたっては、環境を注視しながら行う事はもちろん重要であるが、斐伊川の安全度を上げていくということも忘れずに幅広い観点から御議論頂ければありがたい。忌憚のないご意見を頂きたい。

■広域モニタリング・環境監視について

※説明資料：資料－2

事務局より、広域モニタリング・環境監視について説明。

【中村 学識委員】

- P18の塩分のデータについて、「年間」というのはどの様に考えれば良いか。各月を平均として考えると、例えば宍道湖の下層の6.5という数値が平均なのか疑問である。

【事務局】

- ◆算出方法は12ヶ月の平均であるが、記載値が間違っているようである。後ほど訂正させて頂く。

【中村 学識委員】

- 定期採水の結果については採水時の瞬間値なので、現状変化幅を逸脱することもかなりの頻度であるかと思うが、問題なのは瞬間値ではなくそのような水質が続くのか、ということである。瞬間値にあまり神経質になる必要は無いと考える。

【事務局】

- ◆採水に関してはご指摘のとおりその時の条件により異常値を拾うこともあるため、極力そのようなことがないように採水にあたっては配慮していくとともに、想定外のことあることから結果の検証を行っているところである。

【清家 学識委員】

- 水質を見る場合、自動観測できるものばかりではないのでやはり定期採水は必要であるし、特異な値については今回のように色々なデータから解釈する必要もあり、それはそれで意味のあることだと思う。

【細井 学識委員】

- 長期間観測をされているので、ポイントによって現状変化幅を逸脱しやすいとか、減多に逸脱しないといったような傾向を見ておくと良いかもしれない。

【倉田 学識委員】

- 宍道湖の塩分予測について、近年の結果が過去の最大値を超えないとのことではあるが、一番外潮位が低いレベルであった平成6年が最大値であり、近年の外潮位が高い状況の中、これを判断基準として良いのかは疑問である。
- 全体的に水位が上がっていて、思うほど宍道湖に塩分が入っていないという理解をしているところ。また、平成23年、平成24年は降雨量が多くて打ち消されたと思われる。
- 過去のシミュレーションでは底層の塩分躍層の再現があまり良くなかったが、非常に重要であり、これまでのモデル及び評価方法で良いのか危惧している。
- 協議会としては大橋川改修の影響がどうか、ということではあるが、現在のような高水位、高塩分では、いざ改修を行ったときに評価できないように思われる。今のうちに別の視点での評価についても検討しておくべきである。

【道上会長】

- 外潮位のトレンドがある中で将来的な変化も念頭に置きつつ検討をして頂きたい。

【事務局】

- ◆外潮位の上昇傾向は実現象としてあり、今後も続く可能性もある。先生のご指摘を踏まえた上で分析していく。

【北村 学識委員】

- P57の弓浜半島の地下水位について、今後可能であれば水深あるいは観測点の地盤高と周辺が一番低い農地の標高も併記頂きたい。

【事務局】

- ◆了解した。

■環境保全措置について

※説明資料：資料－3

事務局より工事モニタリングについて説明。

【國井 学識委員】

- コアマモの移植について、シオグサの影響が気になる場所であり、少し時間をかけてモニタリングをお願いしたい。

【事務局】

- ◆了解。先程の報告どおり、継続調査する。

【國井 学識委員】

- 昨年からの工事箇所に向島地区について、元々小規模なヨシのパッチがあったが、植栽する予定なのか。

【事務局】

- ◆今のところ植栽の計画はないが、また相談させて頂く。

【中村 学識委員】

- 近年、大橋川、剣先川で大量にシオグサが繁殖しており、シジミや底質環境に非常に大きな影響を与えるため、シオグサの対策を検討していただきたい。

【舩田 行政委員】

- シオグサについては、大橋川の工事の影響ということではなく、河川管理上対策が必要な部分があり、関係機関と一緒に既に対策検討を進めている。

【事務局】

- ◆今回の協議会で提示した資料については、協議会終了後、速やかに出雲河川事務所のウェブサイトで公開する。
- ◆次回の協議会については平成28年7月頃を目途に開催予定である。